パブリックコメント実施結果報告書 【第4次つくば市地域福祉活動計画】

令和4年3月 つくば市社会福祉協議会

■ 意見集計結果

令和4年3月3日から3月16日までの間、<u>第4次つくば市地域福祉活動計画</u> <u>(案)</u>について意見募集を行った結果、2人から10件の意見の提出がありました。 これらの意見について、適宜要約した上、それに対する社会福祉協議会の考え方 をまとめましたので、公表します。

提出方法別の人数は、以下のとおりです。

提出方法	人数
直接持参	0人
郵便	0人
FAX	1人
電子メール	1人
合 計	2 人

■ 意見の概要及び意見に対する社会福祉協議会の考え方

○ <u>第4章 計画における事業展開 3 具体的事業展開 基本目標1 安心して暮らせ</u> る環境を整える について

No.	意見概要	意見数	社会福祉協議会の考え方
1	「誰でもいつでも、わかり	1件	ホームページが見られる環境にな
	やすい情報に触れられる環境		い市民に対しては、広報つくばを活
	づくり」の具体的な事業はど		用する等対象者に合わせた広報媒体
	んなものを考えているか。		を選択し、適切な時期に情報が提供
	現状ではホームページ、社		できるよう努めます。
	協通信が主な媒体と思うが、		この他にも、定期的に開催する会
	ホームページが見られる環境		議等の場を活用し、参加者に直接広
	に誰もがいるとは思えない。		報物を配付する等、情報提供に努め
	また社協通信では時差があ		ます。
	り、必要な時に情報が届かな		
	いという問題がある。		

○ 第4章 計画における事業展開 3 具体的事業展開 基本目標 3 次世代へつなが る福祉活動を推進する について

No.	意見概要	意見数	社会福祉協議会の考え方
1	誰もが参加できる地域の居	1件	つくば市社会福祉協議会では、地
	場所づくりを推進し、社会的		域活動を実施する団体等を資金面か
	に孤立している人や悩みや不		ら支援するため、令和 4 年度から
	安を抱えている人が安心して		「つくちゃん地域支えあい助成事
	暮らせる環境づくりのため		業」を実施します。また、つくばボ
	に、どんな方策を考えている		ランティアセンターでは、ボランテ
	か。		ィアや市民活動団体の自主的な活動
	例えば、一人暮らしの高齢		を支援するため、活動費の助成を行
	者や子育て中の親世代が気軽		っています。この他にも、茨城県社
	に立ち寄れる居場所として、		会福祉協議会や茨城県共同募金会、
	空き家の活用やそれを運営す		国内の公益財団法人等では、様々な
	るボランティアにとって、情		地域活動に対する助成金交付事業を
	報や資金の調達は欠かせな		実施しています。
	い。それについて何か施策は		つくば市社会福祉協議会では、こ
	あるか。		のような情報を随時発信し、必要と
			する団体や地域へ適切な時期に情報
			を届けることで、つくば市のさらな
			る地域活動の活性化を図っていきま
			す。

No.	意見概要	意見数	社会福祉協議会の考え方
2	出前講座やボランティア育	1件	現在は、主に小中学校の総合的な
	成講座などを、教育委員会に		学習の時間を利用し福祉体験教室を
	働きかけて「放課後こども教		実施しています。
	室」などとコラボしてはどう		頂いたご意見は、今後の参考とし
	か。		ます。

○ 第4章 計画における事業展開 3 具体的事業展開 基本目標 4 生活を支える仕 組みを整備する について

No.	意見概要	意見数	社会福祉協議会の考え方
1	「生活課題に対応する事業	1件	つくば市社会福祉協議会では、各
	の推進」の内容については共		種養成講座を開催しています。講座
	感する。		修了後には、受講生に対し支援員と
	しかし、これらの事業を実		してつくば市社会福祉協議会への登
	施していくに当たって人材は		録を勧めるなど、受講後の活動の場
	確保できているのか。日常生		を提供するとともに、人材の確保に
	活自立支援事業、あんしん生		努めています。
	活支援サービス事業、居宅介		また、介護人材の不足に関して
	護支援事業、訪問介護事業、		は、各種手当の見直し等を行うこと
	障害者ホームヘルプサービス		により適宜労働環境を改善し、離職
	事業など、人材の不足につい		率の低下に努めています。
	て耳にすることがある。対応		
	策についてどう考えるか。		

○ <u>第5章 計画の推進・進行管理 1 計画の進行管理 (1)推進体制の整備</u>について

No.	意見概要	意見数	社会福祉協議会の考え方
1	4 行目に「取組」とある。	1件	御指摘を踏まえ、修正します。
	他の表記は「取り組み」とな		
	っているため、統一した方が		
	良い。		

○ 第5章 計画の推進・進行管理 3 計画の実現に向けた活動 について

No.	意見概要	意見数	社会福祉協議会の考え方
1	「計画の推進・進行管理」 において、特に「3 計画の実 現に向けた活動」については よろしくお願いしたい。	1件	今回の第 4 次計画は、計画を前期 と後期に分け、各期終了後を目安と して進捗確認を実施し、事業の見直 し等を行います。
			計画の推進にあたっては、計画書 に記載のとおり地域活動団体等様々 な団体と連携・協働しながら、計画 の推進に努めます。

○ 策定委員会 について

No.	意見概要	意見数	社会福祉協議会の考え方
1	策定委員会は 4 回の予定に	1件	策定委員会は、今回のパブリック
	なっていますが実際には2回		コメント以前の開催が 2 回となって
	しか行われていない。その理		いました。パブリックコメント以降
	由は何か?		に 2 回開催(書面協議を含む)し、
	また委員会は公開されてい		計4回開催します。
	ないが、議事録も公開しない		また、委員会に関しては第2回以
	のか。		降、書面協議の場合を除き公開とし
			ます。
			委員会の会議録については、ホー
			ムページにおいて公表する予定で
			す。

○ 第3次つくば市地域福祉活動計画(前計画) について

No.	意見概要	意見数	社会福祉協議会の考え方
1	前計画の総括はどこでどの	1件	前計画の評価は、一次評価として
	ように行ったのか。その報告		各事業担当者が事業調書を作成しま
	は公表されるか。		した。その後、二次評価としてワー
			キングチームの中で各調書をまと
			め、評価の総括とします。
			なお、前計画の評価に関しては、
			公表する予定です。

No.	意見概要	意見数	社会福祉協議会の考え方
2	前計画で目標に到達できなかった事業については次の計画ではどのように扱うのか。	1件	前計画の事業評価において不十分 となった事業に関しては、今回の計 画において改善できるよう努めま す。
3	前計画は、計画実行期間内 に、公表されていなかった が、この第 4 次計画は公表し てほしい。つくば市の福祉計 画の一つとして、どのような 事業があるのか、またどのよ うに進められていくのか、市 民に知らせてほしい。	1件	今回の第 4 次計画に関しては、ホームページにて公表します。

■ 修正の内容

○ 基本理念 について

修正前	修正後
第2章 計画の策定経過	第2章 基本理念
(略)	(略)
第3章 つくば市の地域福祉の現状と課題	(第2章追加につき、以下繰り下げ)
(略)	<u>第3章</u> 計画の策定経過
第4章 計画における事業展開	(略)
1 基本理念	第4章 つくば市の地域福祉の現状と課題
(略)	(略)
第5章 計画の推進・進行管理	<u>第5章</u> 計画における事業展開
(略)	(略)
	<u>第6章</u> 計画の推進・進行管理
	(略)

[※]パブリックコメントによるものではありませんが、より分かりやすい内容とする ため、章立てを修正しました。

○ <u>第4章 計画における事業展開 3 具体的事業展開 基本目標1 安心して暮らせる環境を整える</u>について

<u> る現現を歪んる</u> について	
修正前	修正後
▶ 施策の方向性(3) 情報発信の工夫と	▶ 施策の方向性(3) 情報発信の工夫と
充実	充実
(略)	(略)
地域福祉への関心を高めるために、	地域福祉への関心を高めるために、
誰でも、いつでも、分かりやすい情	つくば市社会福祉協議会の広報物だ
報に触れられる環境づくりを進めて	<u>けでなく「広報つくば」等の関係機</u>
いきます。	関の広報物や定期的に開催する会議
	<u>等の場を活用しながら、</u> 誰でも、い
	つでも、分かりやすい情報に触れら
	れる環境づくりを進めていきます。
	また、つくば市社会福祉協議会を
	始め、他団体が実施する助成金情報
	等を随時発信し、必要とする団体や
	地域へ適切な時期に情報を届けるこ
	<u>とで、つくば市のさらなる地域活動</u>
	の活性化を図っていきます。

○ 第4章 計画における事業展開 3 具体的事業展開 基本目標 3 次世代へつなが る福祉活動を推進する について

施策の方向性(2)	福祉意識の啓発・
人材育成	

修正前

(略)

広く地域住民に向けた出前講座のほか、ボランティア育成のための講座の開催などを通し、地域における福祉活動の継続性を高めます。

修正後

▶ 施策の方向性(2) 福祉意識の啓発・ 人材育成

(略)

広く地域住民に向けた出前講座の ほか、ボランティア育成のための講 座については、新たな人材の育成に 向けて他機関等との連携・協働を検 討し、地域における福祉活動の継続 性を高めます。

また、体験だけでなく、ボランティア活動者や障害のある当事者の話を聞くことでボランティアや福祉に対する興味・関心を高め、一人でも多くの市民が福祉に関わることのできる環境づくりに努めます。

○ <u>第5章 計画の推進・進行管理 1 計画の進行管理 (1)推進体制の整備</u>につ いて

修正前	修正後
(略)	(略)
そのため、それぞれが主体性を持ち、 専門的な知識・技術を活かしながら包 括的な取組を推進します。	そのため、それぞれが主体性を持ち、 専門的な知識・技術を活かしながら包 括的な <u>取り組み</u> を推進します。